



平成28年度「株式学習ゲーム」 実施状況・アンケート調査結果

日 本 証 券 業 協 会
東 京 証 券 取 引 所

目次

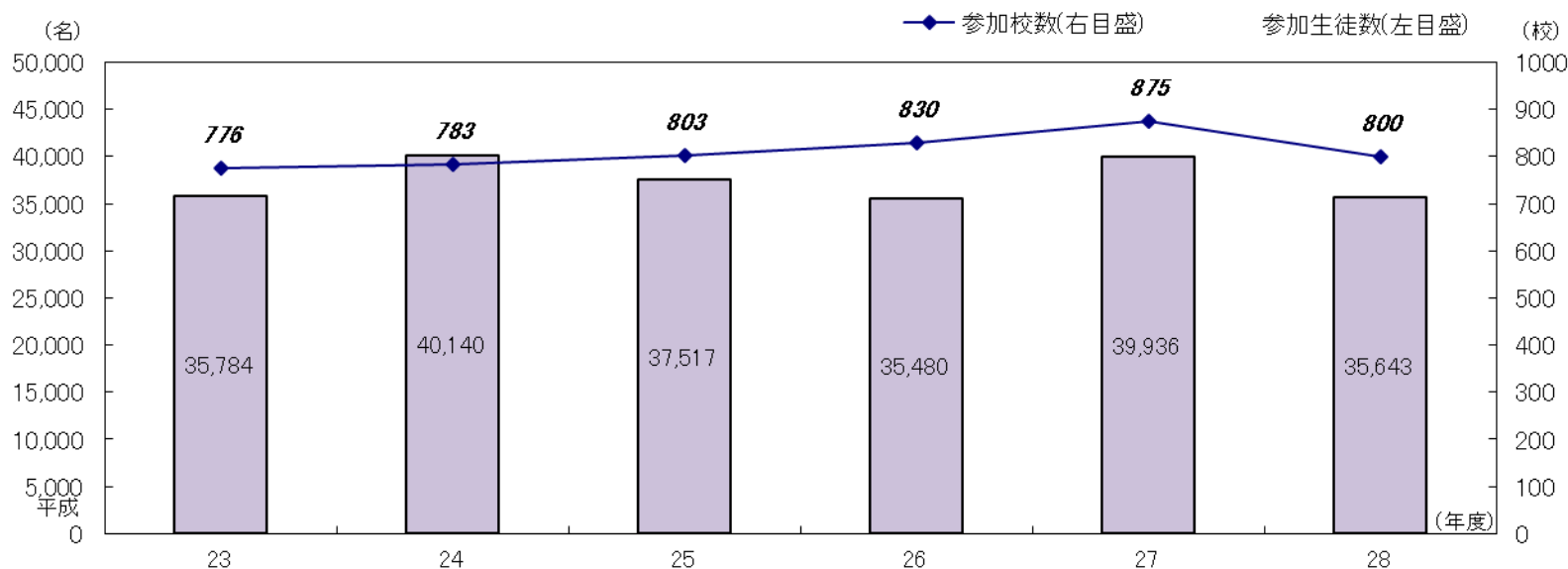
1. 実施状況
2. 株式学習ゲームを教材として導入した理由
3. 実施した授業科目
4. 株式学習ゲームの活用時間と取引頻度
5. 株式学習ゲームの難易度
6. 生徒の取り組み姿勢
7. 株式学習ゲームによる学習効果
8. 生徒の反応・感想等
9. 売買の傾向
10. 授業での工夫やアレンジなど

1. 実施状況

平成28年度の合計参加校数は前年度(875校)より減少し、800校となった。

また、参加人数については、前年度(39,936人)から減少し、35,643人となった。

実施年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
参加校数	783	803	830	875	800
参加人数	40,140	37,517	35,480	39,936	35,643

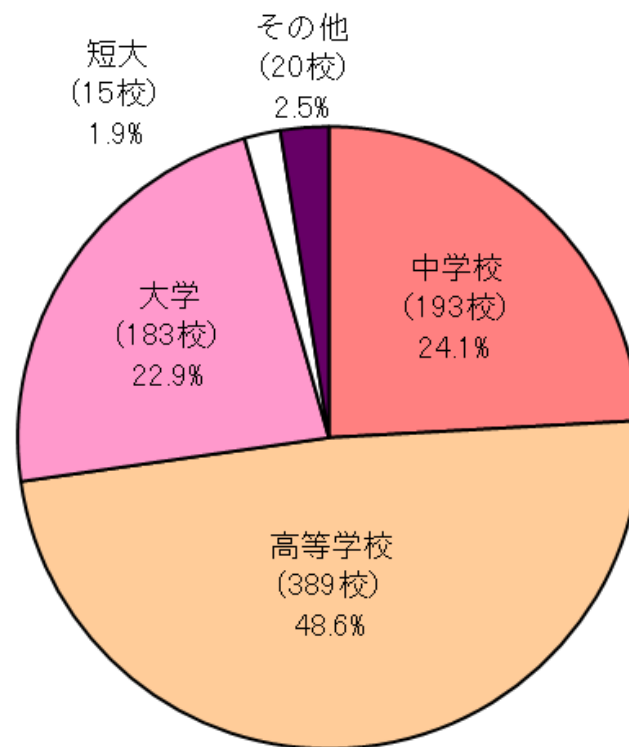


※1 平成14年度以降はインターネット方式が併行導入されたため、従来方式のマークシート方式と合算した数値となっている。

※2 平成25年度からはマークシート方式を廃止したため、インターネット方式のみの数値となっている。

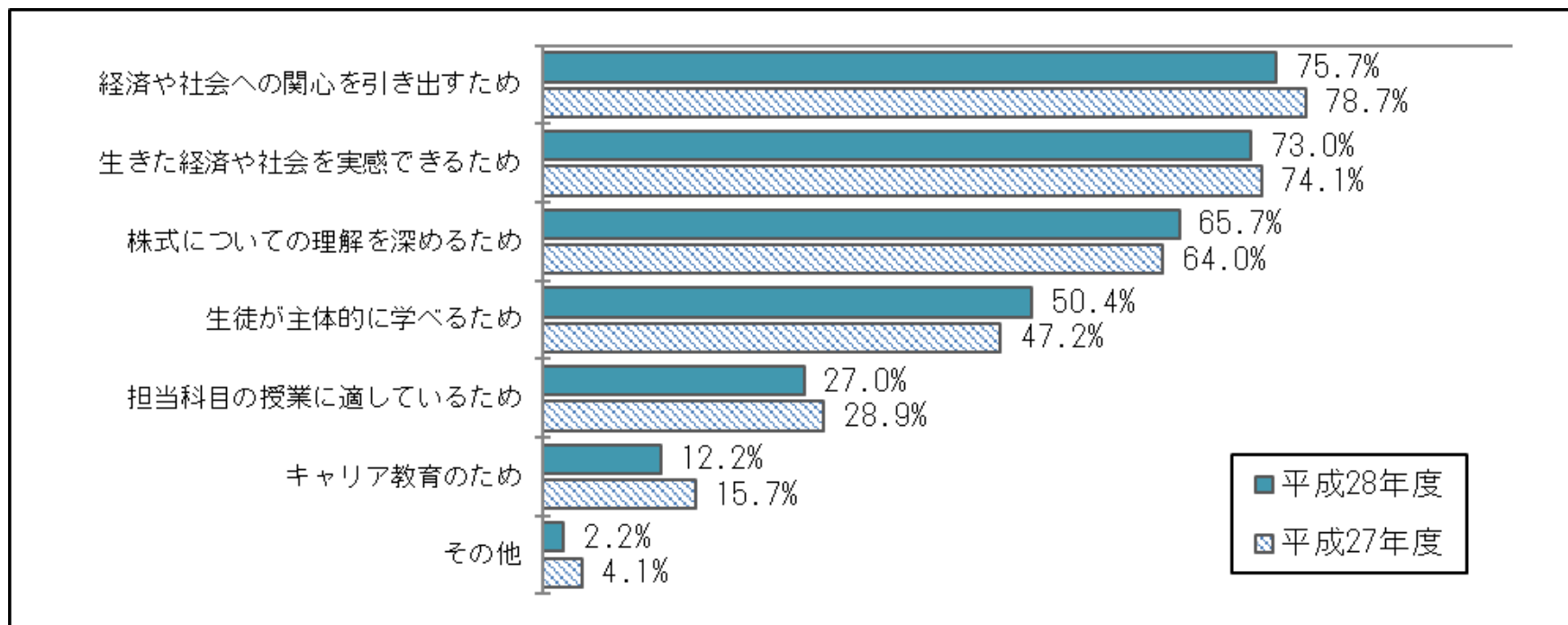
1. 実施状況

参加校(800校)の内訳は、
高等学校48.6%(389校)と最も多く、次いで
中学校が24.1%(193校)、大学22.9%(183
校)、短大1.9%(15校)、その他の学校等が
2.5%(20校)であった。



2. 株式学習ゲームを教材として導入した理由

前年度と同様「経済や社会への関心を引き出すため」という回答が75.7%（174校）と最も多かった。次いで、「生きた経済や社会を実感できるため」73.0%（168校）、「株式についての理解を深めるため」65.7%（151校）の順となっている。



(複数回答可)

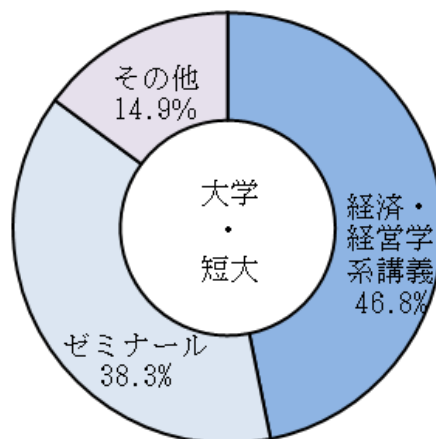
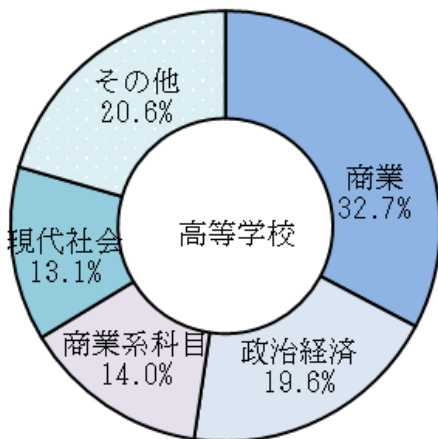
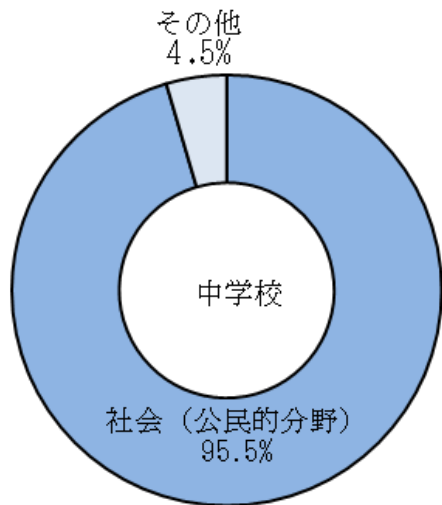
3. 実施した授業科目

中学校では、ほとんどが「社会（公民分野）」95.5%（63校）で実施していた。

高等学校では、「商業」の授業での実施が32.7%（35校）と最も多く、次いで、「政治経済」が19.6%（21校）、「商業系科目」が14.0%（15校）となった。

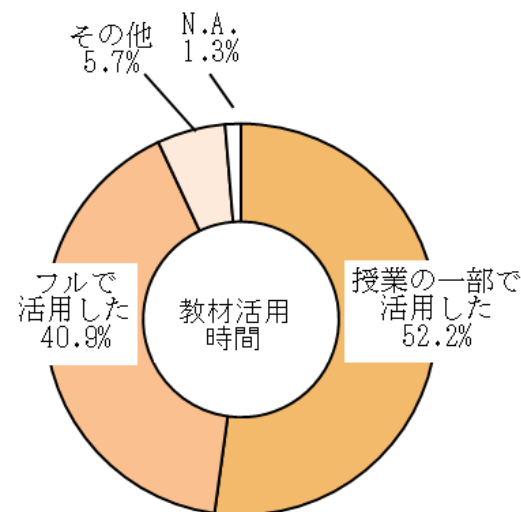
大学その他では、全体の46.8%（22校）が「経済・経営学系講義※」における実施となり、最も多い割合となった。次いで、「ゼミナール」が38.3%（18校）となっている。

※「経済・経営学系講義」には「証券・金融論」「経済学」「経営学」等を含む。

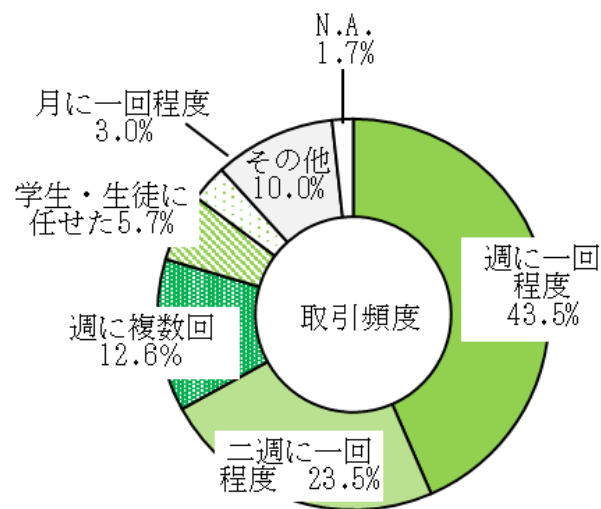


4. 株式学習ゲームの活用時間と取引頻度

一回の授業における活用時間については「授業時間のうち一部で活用した」という学校が最も多く52.2%（120校）、次いで「授業時間を全て活用した」との回答が40.9%（94校）となった。



取引頻度については、「週に一回程度」が43.5%（100校）と最も多く、次いで「二週間に一回程度」が23.5%（54校）という結果となった。

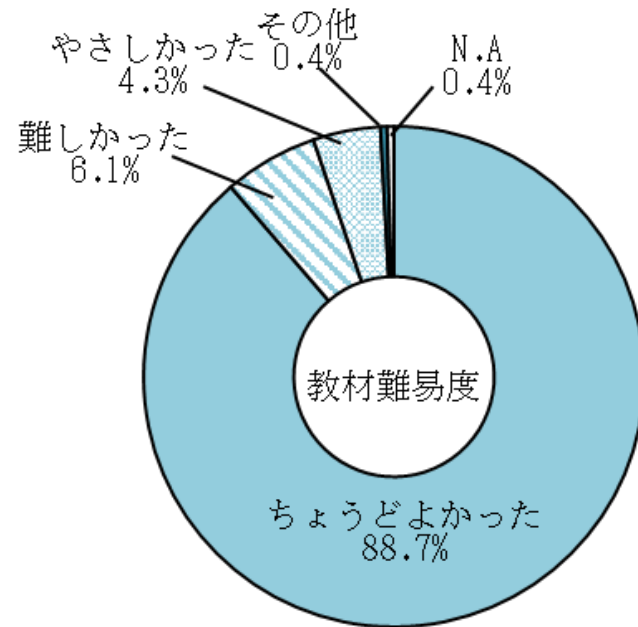


5. 株式学習ゲームの難易度

「ちょうどよかった」と回答した学校が88.7% (179校)と最も多かったが、「難しかった」と答えた学校も6.1%(14校)あった。

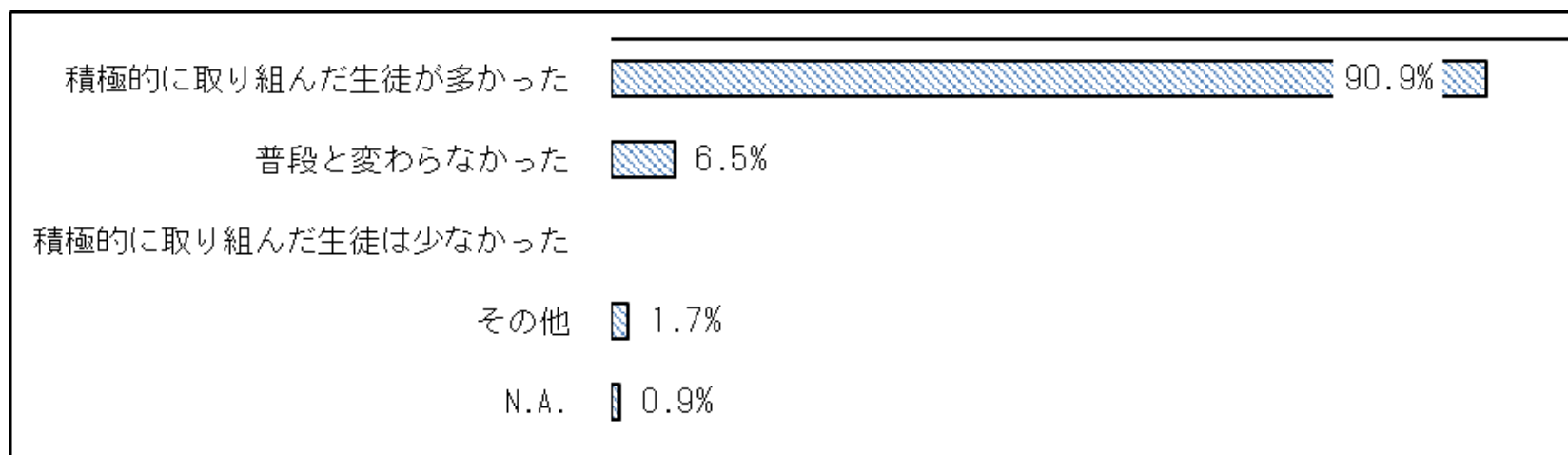
内訳は中学校2校、高等学校9校、大学1校、短期大学1校、特別支援学校1校であり、具体的な理由として「企業分析を行うことが難しかったため」「基礎知識が不足していたため」といったことが挙げられた。

また、「やさしかった」と回答した学校も4.3% (10校)あった。



6. 生徒の取り組み姿勢

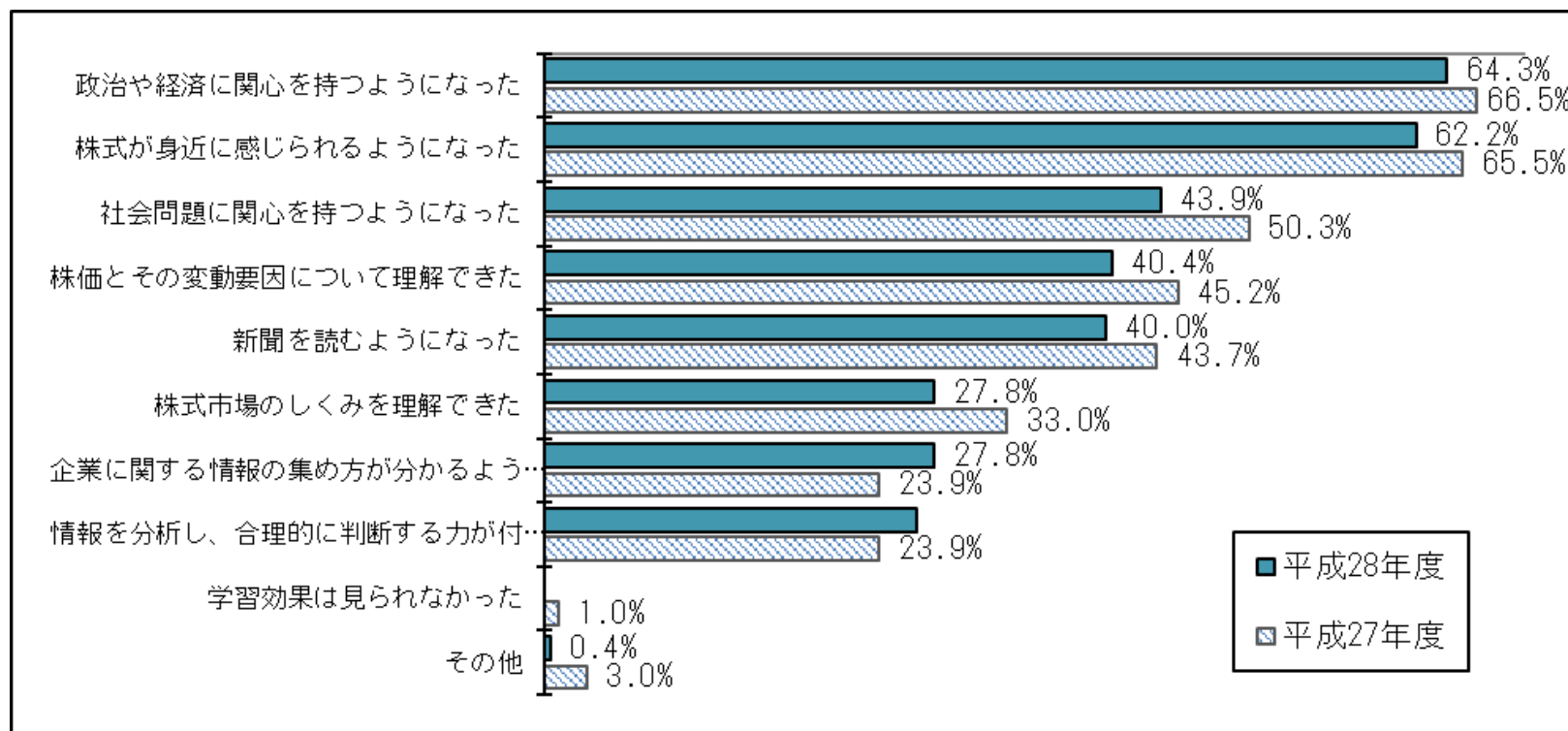
「積極的に取り組んだ生徒が多かった」が最も多く90.9%（209校）であった。以下「普段と変わらなかった」6.5%（15校）と続き、「積極的に取り組んだ生徒は少なかった」と回答した学校はなかった。



（複数回答可）

7. 株式学習ゲームによる学習効果

「政治や経済に関心を持つようになった」64.3% (148校) が最も多く、以下、「株式が身近に感じられるようになった」62.2% (143校)、「社会問題に関心を持つようになった」43.9% (101校) と続いた。



(複数回答可)

8. 生徒の反応・感想等

生徒たちは本教材を通じて、新聞やテレビなどのニュースに関心を持つようになり、経済・社会・企業について興味・関心を持って学習した様子が見えてくる。

先生方から見た全体的な生徒の反応、感想等 (原文を要約後、区分)	回答数(校)
新聞やニュースに関心を持つようになった	24
社会の変化と株価の連動を感じることができた	16
株式投資が身近に感じられるようになった	7
自ら考えて参加できるので面白かった	4
将来実際に株式投資をしたいと思った	4
もっと長期間の取引がしたかった	4
リアリティがあって面白かった	4
就職活動に役立つと感じた	3

9. 売買の傾向

例年と同様に、ニュース等で取り上げられる頻度が高く、生徒の間で知名度が高いと思われる銘柄の売買回数が多かった。

順位	平成26年度	平成27年度	平成28年度
1位	ソフトバンク	トヨタ自動車	任天堂
2位	トヨタ自動車	セブン&アイ・ホールディングス	トヨタ自動車
3位	セブン&アイ・ホールディングス	オリエンタルランド	ソニー
4位	任天堂	ソフトバンク	セブン&アイ・ホールディングス
5位	オリエンタルランド	任天堂	ソフトバンクグループ
6位	ローソン	ソニー	明治ホールディングス
7位	ソニー	イオン	東宝
8位	イオン	ローソン	オリエンタルランド
9位	コカ・コーラ・イーストジャパン	日本航空	日本航空
10位	日本航空	アサヒグループホールディングス	イオン

10. 授業での工夫やアレンジなど

工夫している点・アレンジしている点等(原文を要約後、区分)	回答数(校)
時事問題(新聞、テレビのニュース、インターネット等)を取り上げた	22
オリジナルのプリント等を使用した	17
プレゼンテーションを行わせた	15
企業研究(CSR・ニュース・企業見学等)	14
売買理由を明確にさせる	14
レポートの提出を求めた	9
売買結果を記録させた	9
スマートフォンやタブレット等を活用した	6
取引結果や順位を掲示した	6
株式や株式会社に関する講義を行った	5
購入の条件を追加した(分散投資を行う等)	4